

インフルエンザも緑茶うがいで予防

小林茶研究会からうがい用のお茶 213 ｷｯｸが市へ贈呈されました。同会の上別府洋哉会長は「小中学生のインフルエンザ対策や風邪の予防に緑茶うがいを役立ててもらえれば」と話していました。



小林ジュニアマーチングバンド全国へ

2月3日、全国大会に出場する小林ジュニアマーチングバンドが市長を表敬訪問しました。部長を務める小林小6年の松永華澄さんは「今年こそは金賞をとりたい」と力強く意気込みを語りました。



農業技術を学んだ研修生、母国へ

2月15日、富満哲夫さん宅へ農家研修に訪れていたインドネシア人のワシュディン・アセップさんが市長を表敬訪問しました。アセップさんは「農業の考え方、技術の基礎を学ぶことができた」と話していました。



ライオンズクラブがランドセルカバー贈呈

小林ライオンズクラブから市内の小学校の新入学児童に、ランドセルカバーが贈呈されました。贈呈されたランドセルカバーは12校に420枚。受け取った子どもたちはとても嬉しそうでした。



小林中男子バスケ部九州大会へ

2月14日、九州大会に出場する小林中男子バスケットボール部が市長を表敬訪問しました。日高達範主将は「走り負けないようにし、優勝したい」と大会に向けて抱負を語りました。



バリアフリーが進んでいない現状も紹介。清水さんは「障がい者と健常者が理解しあい、手を取り合うことが大切」と話していました。

期待の選手から車椅子へ 清水哲さんの命の話

2月11日、人権啓発と、心と身体の健康を推進するイベント「こころとこころがつながれば」が文化会館大ホールで開催されました。市民ら約400名が来場。元PL学園高校野球部で、現在車椅子で生活している清水哲さんによる「生きる勇気がありがとう」と題した講演がありました。



細野、南西方にある霧島信仰に関連する田の神像や神社など6史跡をめぐり、参加者の質問に丁寧に答えていました。

史跡を巡って学ぶ 霧島信仰と新燃岳噴火

2月9日、市ガイドボランティア協会の巡回学習が行われました。市内から33名が参加し、享保の新燃岳噴火に関連のある史跡を探訪。同協会の前田宗佐さんは、「噴火に伴い、当初とは違う順路となったが、霧島信仰を肌で感じる機会になったのでは」と話していました。



第61回こばやし駅伝競走大会 小林校区が11年連続30回目の優勝(一般の部) 小林中が3年連続で栄冠に輝く(中学の部)

1月23日、第61回こばやし駅伝競走大会が、総合運動公園陸上競技場を発着とする27・1ｷｯｸ、14区間で開催されました。

一般の部は序盤からフリーの区間で区間賞を獲得した小林校区がトップを快走。逆転を狙う南校区、東方校区がそれを追う展開になります。それでも安定した走りでトップを守った小林校区が1時間33分24秒でゴール。見事11年連続、30回目の優勝を果たしました。

中学の部は、3連覇を狙う小林中が序盤から優位にレースを展開。9区間で区間賞と、安定した走りを披露します。結局最後まで首位を守った小林中が、1時間31分06秒で見事3連覇を達成しました。

また、会場の外では具沢山の豚汁が振る舞われ、来場者の冷えた体を温めました。(以下結果)

- 【一般の部】
優勝…小林校区、準優勝…南校区、3位…東方校区
- 【中学の部】
優勝…小林中A、準優勝…西小林中、3位…細野中
- 【オープン参加の部】
優勝…高原中、準優勝…小林中B、3位…飯野中

